



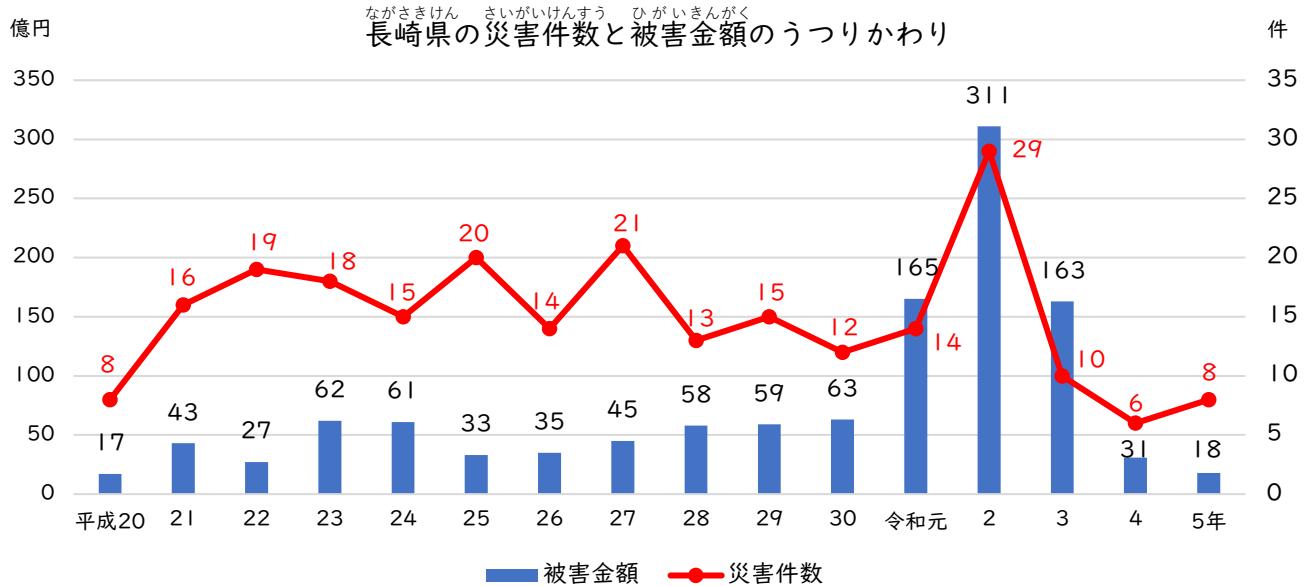
とうけいっす

災害(さいがい)



災害は多い?

出典：県危機管理監「消防防災年報」



最近は日本各地で地震や大雨による災害が増えているよね。
令和2年の長崎県では7月6日から8日にかけて記録的な雨が降って、家屋への被害や崖崩れ、農作物の被害などで、被害金額は311億円にもなっているよ。

長崎県で起こった過去の大きな災害

長崎大水害	発生日	昭和57年7月23日
	死者	299名
	負傷者	805名
	家屋被害	42,871棟
	被害総額	3,153億1,336万円
	長崎市を中心とした地域を襲った集中豪雨（しゅうちゅうごうう）。6月1か月間の平均雨量と同じ量の雨が3時間の間で降り、長与町では1時間に187mmの雨量を観測した。この記録は現在でも日本の歴代最高記録となっている。また、中島川、浦上川、八郎川が氾濫（はんらん）し、国の重要文化財（じゅうようぶんかざい）のめがね橋が崩壊（ほうかい）するなどの被害を受けた。	
雲仙普賢岳噴火災害	発生日	平成2年11月17日～平成8年6月3日
	死者	44名
	負傷者	11名
	家屋被害	2,593棟（島原市分のみ）
	被害総額	2,299億4,197万円
	平成2年11月17日に噴火し、それ以降、噴煙活動（ふんえんかつどう）が観測されていた。特に大きな被害をもたらしたのが平成3年6月3日に発生した火碎流（かさいりゅう）であった。亡くなった消防団員のほとんどが地元農家の跡取り（あととり）であったため、その後の農業復興（のうぎょうふっこう）にも大きな支障（ししょう）をおぼえた。	



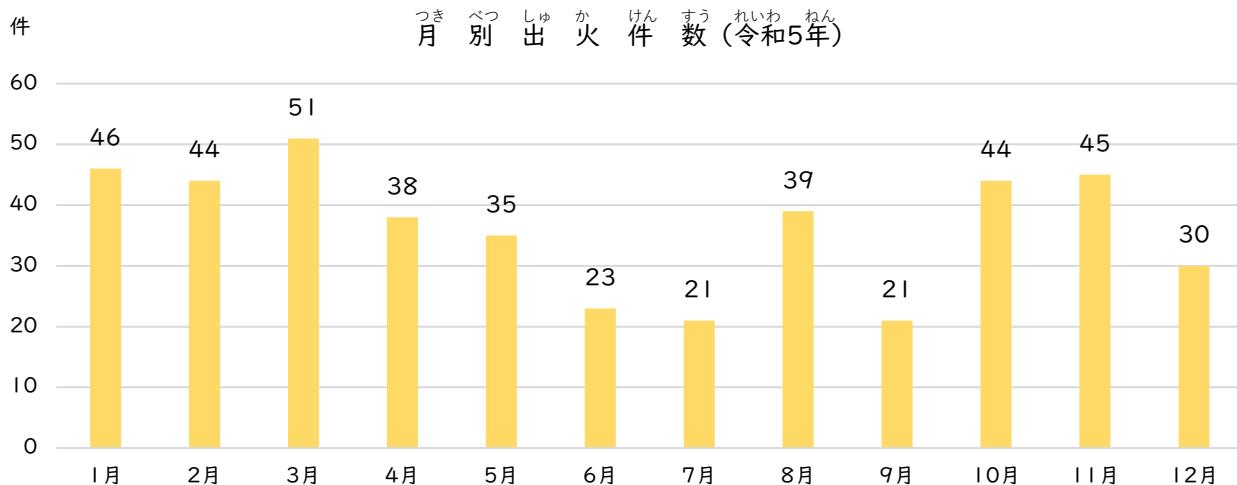
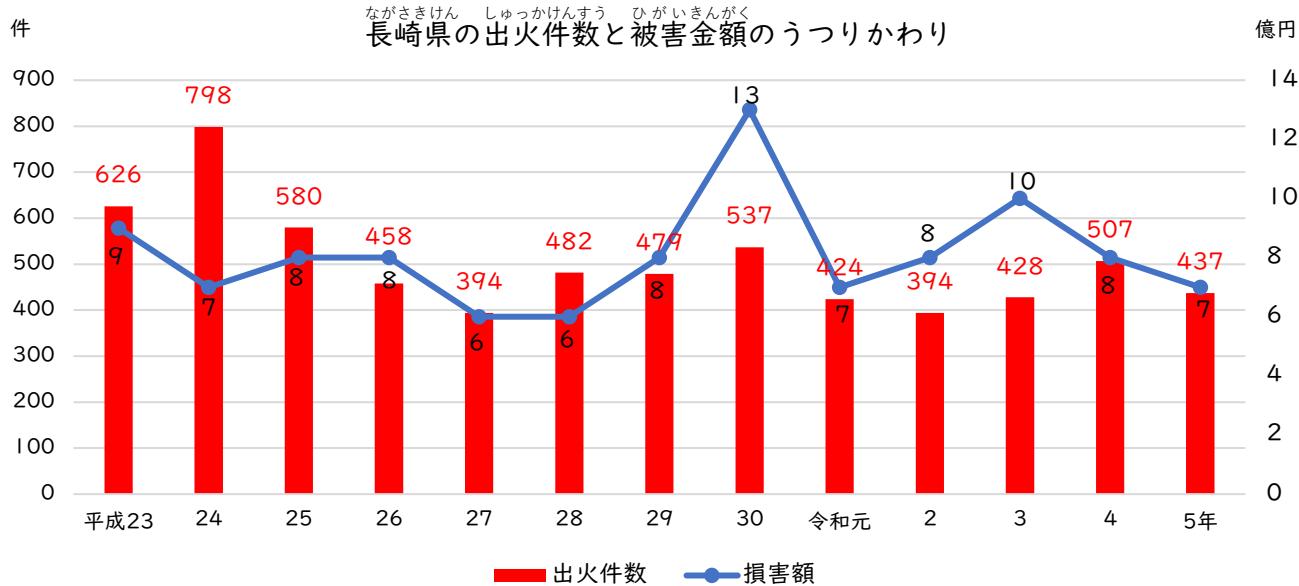
とうけいつづ

火災(かさい)

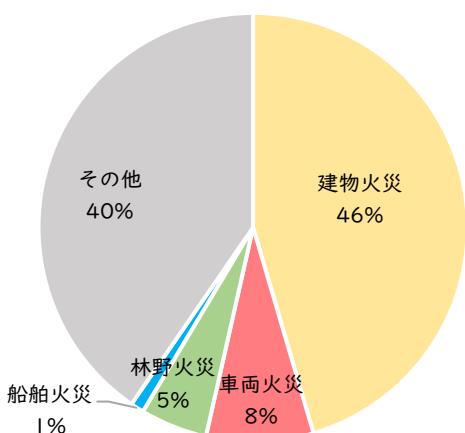


火災発生件数と損害額

出典：県危機管理監「消防防災年報」



火災の割合



月別の出火件数のグラフをみると、3月が一番多いのがわかるね。(令和4年も一番多いのは3月)空気が乾燥する冬に火災は発生しやすいというイメージがあるけど、実は春も火災が多い季節なんだよ。

春は強い南風が吹きやすく、小さな火種でも燃え広がりやすく火災が発生しやすいんだよ。





とうけいつす

火災（かさい）

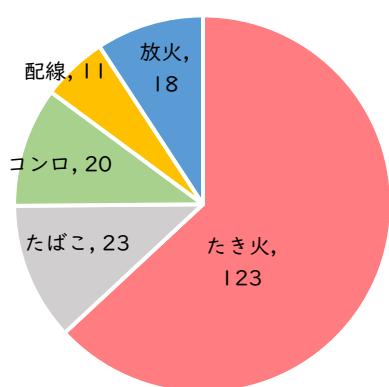


火災の原因と死者数

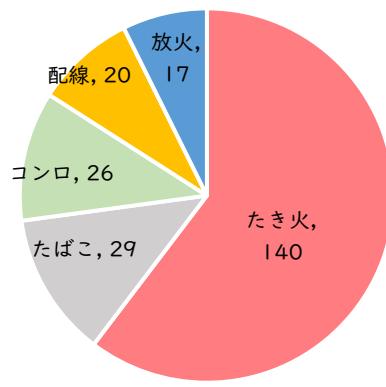
出典：県危機管理監「消防防災年報」

火災原因の割合

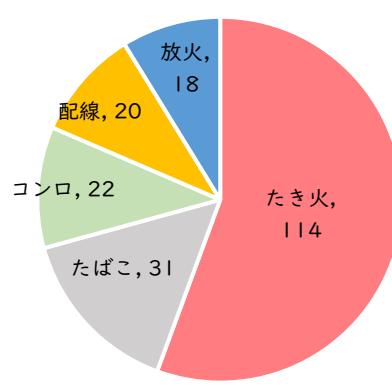
令和3年



令和4年



令和5年



※配線は電灯・電話などの配線

※放火は放火の疑い含む

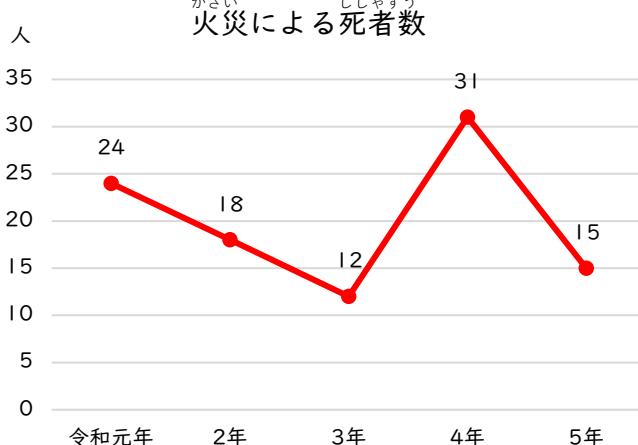
単位：件



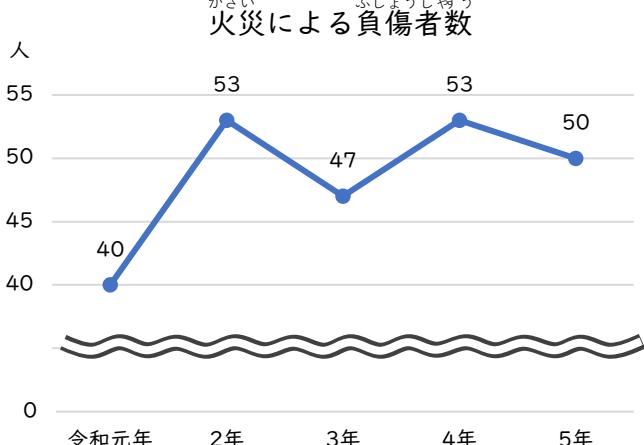
どの年も原因の1位はたき火になっているね。

たき火は風の強さによっては、他の場所に燃えうつことがあるから注意が必要なんだよ。

火災による死者数



火災による負傷者数



もしも、火災に遭遇したらどうする！？

①とにかく早く逃げ始めること！

煙や炎はわずか数分で建物内に広がります。

②煙を吸わないこと

煙は天井の方から溜まっていくので、イラストのように姿勢を低くして逃げること。

③逃げたら絶対に戻らない





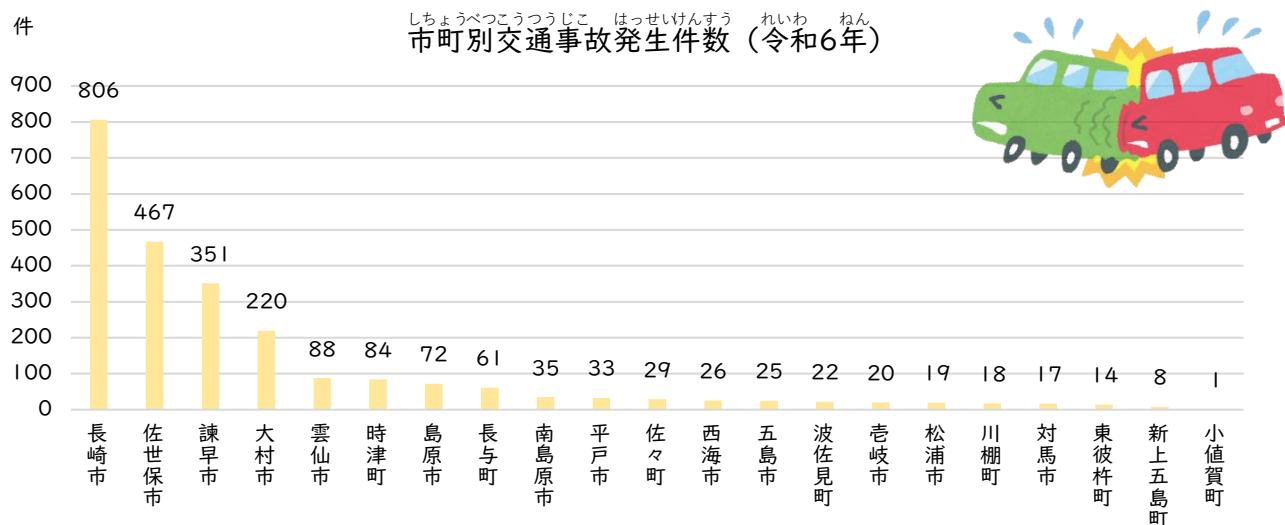
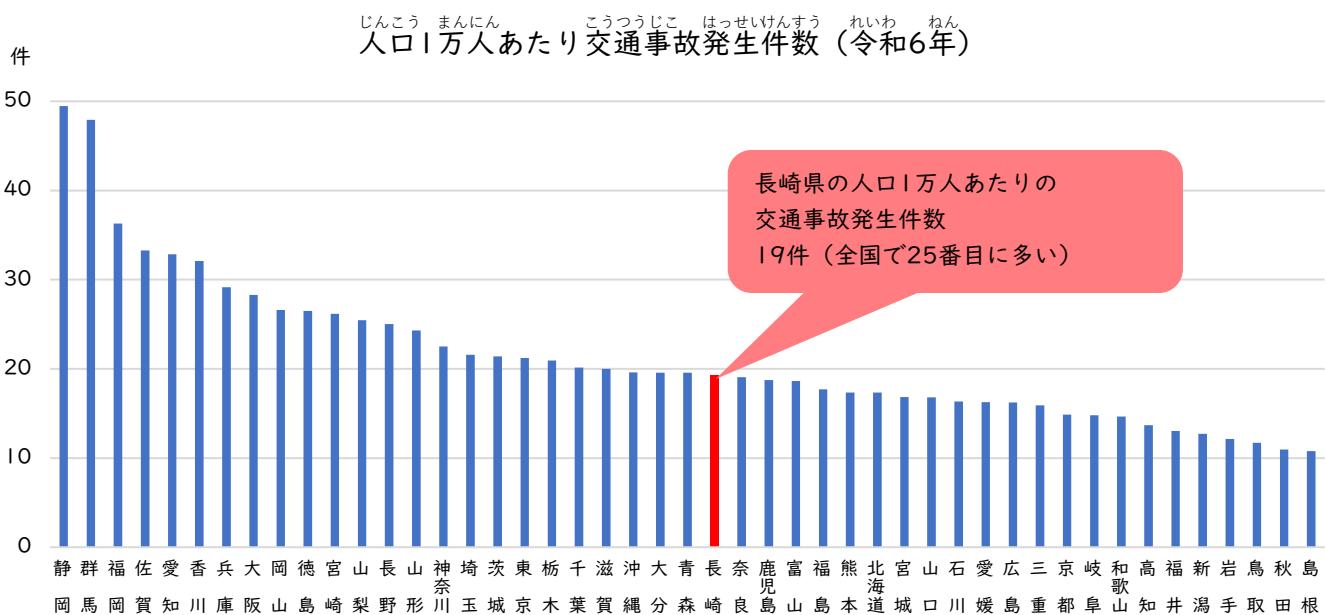
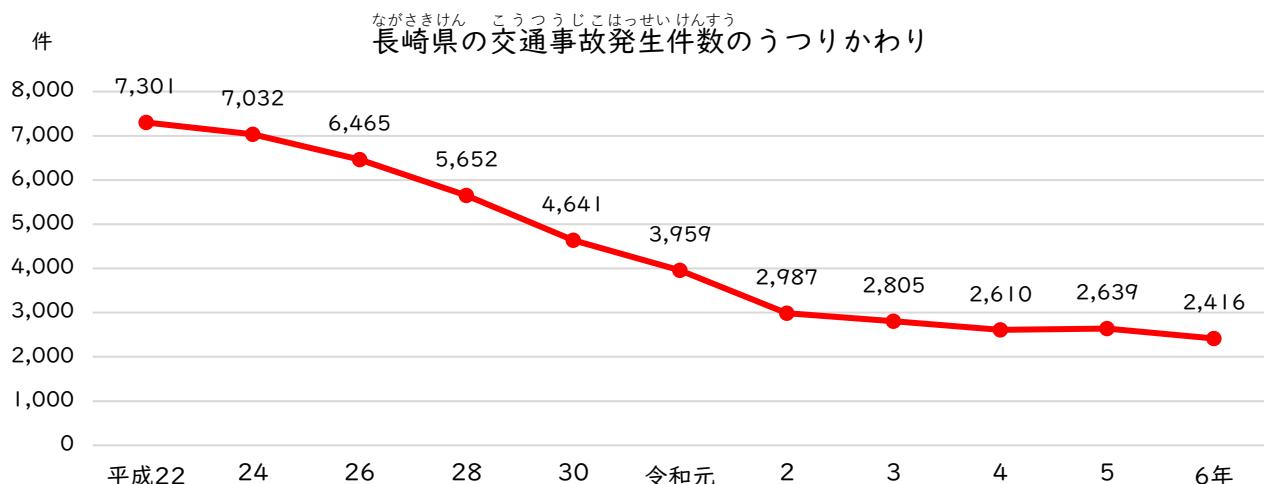
とうけいきつず

交通事故



とっても身近な交通事故

出典：県警察本部「交通統計」





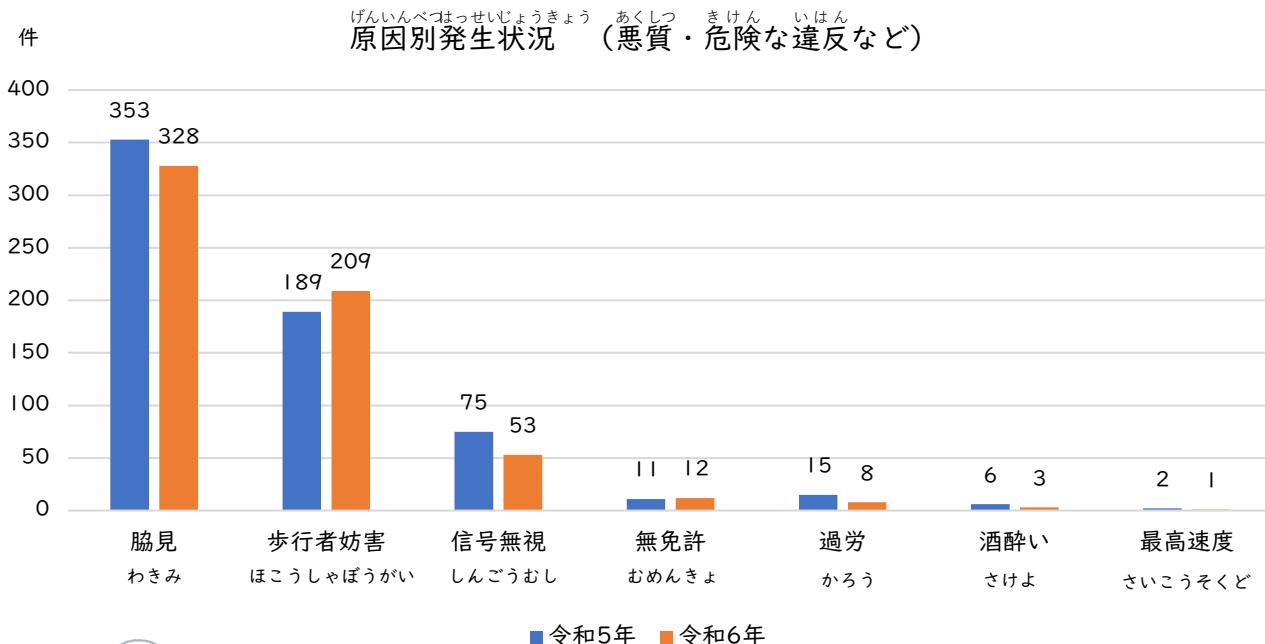
とうけいっす

交通事故



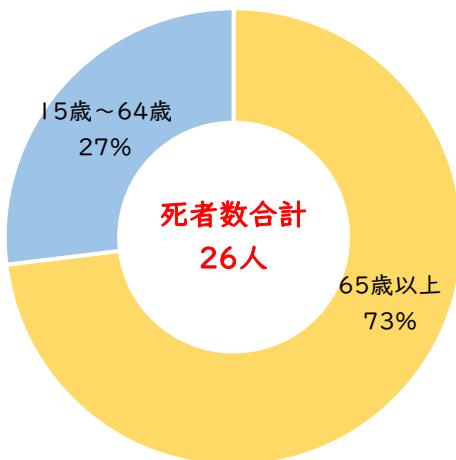
みじか こうつうじこ
とっても身近な交通事故

出典：県警察本部「交通統計」

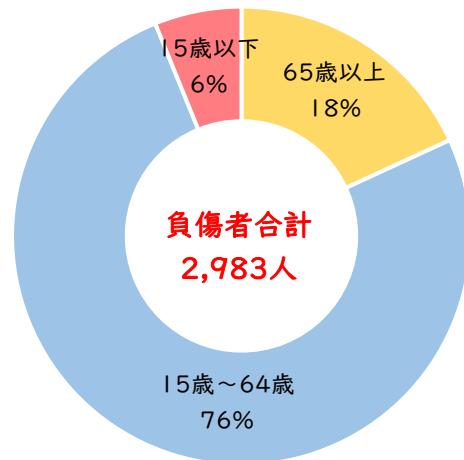


歩行者妨害ってなんだろう？
 信号のない横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいた場合に、歩行者の横断を車が妨害することだよ。（信号のない横断歩道は歩行者が優先）

交通事故死者数（令和6年）



交通事故負傷者数（令和6年）



高齢者の交通事故の約9割が運転中によるもの

令和6年に起きた高齢者関連の交通事故は1,071件で、令和5年より45件

増加しているよ。そのうち987件が運転中によるものだよ。

高齢者の事故は被害が大きくなりやすく、死亡事故につながることが多いんだ。

